

言葉を含むものはない。

併し僕達が二傷者であると共に又日本國民であることを自  
慢するとき、僕達は往々上衣を見て春と僕の風に附  
りの一日ながら無智なるが故に、御承たるか殿ども一  
口く真面目な僕達を心此等の経験と同視し異端  
社會は常に僕達の人権を無視し僕達を蔑めてゐる。だ  
之等がたゞ其生息が保障されぬ反面、而して被虐者  
傷者の過半數を占有する僕達自由市傷者に対する対応は寧  
ろ又殊甚だ僕達の人権更に想ふべくおちいの日本及  
ハ

醒めよ兄弟――

時代は被虐の上に育つはなし

僕達がこの桎梏ヲ解放され得る唯一の道は大いに僕達自身が犯  
人に取られ自身の事件自身で解決して行く  
ソヨニ力強ひ人を生むる光明が見出されるが、  
起て――、元々來つて僕は自由市傷者の命を奪  
せよ――

自由市傷自治會

自由市傷自治會

第4

第一條 本會は自由市傷自治會ト称ス  
第二條 本會は自由市傷者ヲ以て組織ス  
第三條 本會ハ本部ヲ東京市本所市傷組入所  
ハ第一爲ス

第四條 本會は會員相互、扶助親睦ニ計、勤